

雨水利用の先進地 雨と共生する墨田区



墨田区は、「雨水は流せば洪水、ためれば資源」を合言葉に、1980年代から雨水利用に取り組んできました。現在では雨水利用の世界的な先進地となっています。区役所や東京スカイツリー®、両国国技館などの施設で雨水がトイレや消火用水に利用されているほか、地元企業のライオン株式会社とNPO法人雨水市民の会が雨水タンク「両国さかさかさ」を区に寄贈し、また一般家庭でも小規模雨水タンクを設置するなど、地域全体で雨水利用を進めています。

環境に配慮した 電気で走る区内循環バス 「すみだ百景すみりんちゃん」

東京スカイツリー®開業で、観光客が急増している墨田区。観光客と区民の交通利便性を向上させるため、墨田区は平成24年3月から区内循環バス「すみだ百景すみまるくん・すみりんちゃん」の運行を始めました。この区内循環バスは、東京スカイツリー®の直近の駅である押上駅を基点に、3つのルートで下町情緒が溢れる寺社や公共施設をめぐるります。その中の1台である「すみりんちゃん」は走行時にCO₂を一切排出しない電気バスを採用し、「すみだ環境区宣言」の主な目標である、温室効果ガス排出量のさらなる削減に貢献しています。環境にやさしい「すみりんちゃん」とともに、墨田区の楽しさを発見してみませんか。



区民の力で景観にうるおい 「緑と花のまちづくり 推進地域制度」

墨田区は、「緑と花のまちづくり推進地域制度」(通称:まちなか緑化)のもと、地域の緑化とうるおいのある景観づくりを進めています。墨田区のまちなか緑化の特徴は、地域の方や緑化ボランティアである「緑と花のサポーター」が主体となり、日ごろから花苗の植栽やプランターの花がら摘みの手入れなどを行なっている点です。また、東京スカイツリー®開業にあたっては、多くの観光客の通り道になる浅草通りや北十間川沿いに、プランターやハンギングバスケットの設置を協力していただきました。すみだの緑と花には区民のおもてなしの心がこめられています。

